

令和 7 年度

愛知中部水道企業団水道事業会計

決 算 説 明 資 料

— 目 次 —

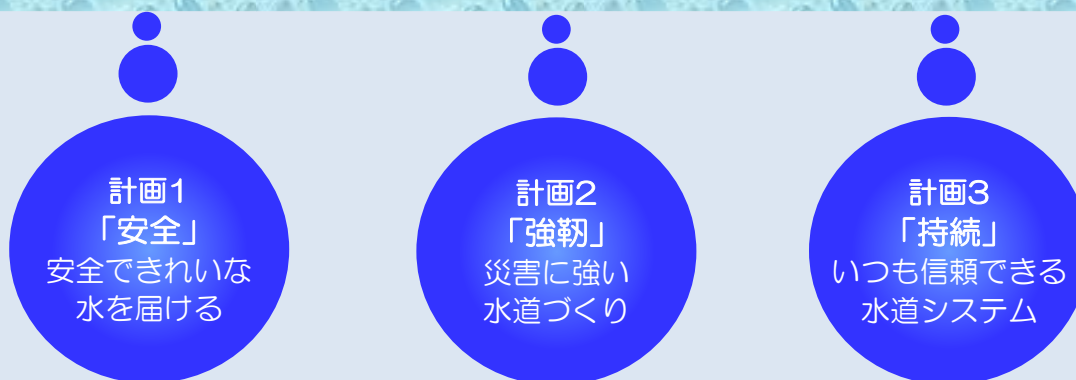
1 第3次アクア・シンフォニー計画事業報告	-----	1
2 決算書附属資料		
(1) 業務の状況	-----	5
(2) 収益的収支予算決算対比表(消費税込み)	-----	6
(3) 資本的収支予算決算対比表(消費税込み)	-----	7
(4) 財務諸表4表(①損益計算書、②剰余金計算書)	-----	8
財務諸表4表(③貸借対照表、④キャッシュ・フロー計算書)	-----	9

1 第3次アクア・シンフォニー計画事業報告

令和7年度は、基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて策定した水道事業ビジョン「第3次アクア・シンフォニー計画」の5年目として、引き続き、第2次水道施設整備事業を始めとする各施策の目標達成に向け、事業を着実に推進しました。

★★水道事業ビジョン★★
第3次アクア・シンフォニー計画
(当初計画：令和3年度～令和12年度)
【改訂版：令和8年度～令和12年度】

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、検査の正確性や分析技術の向上を図りました。
 - ・ 適正な水質管理 … 998万円
(一部農業項目等の水質検査業務委託他)
 - ・ 水質検査精度管理 … 1,595万円
(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)
 - ・ 水安全計画の検証
(水安全計画のレビュー)
2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続しました。
 - ・ 施設警備委託 … 216万円
(水道施設警備業務委託)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新しました。

・老朽管路の更新 … 14億6,908万円

(豊明市大久伝町他地内配水管布設替工事始め25件 L=13,770m)

2. 基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行いました。

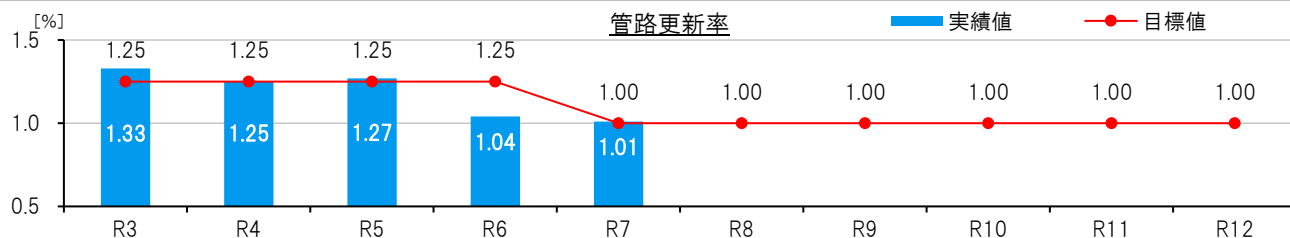
・基幹管路の耐震化 … 1億502万円

(横道グリーン線配水管布設替工事その19始め2件 L=391m、基幹管路耐震化に伴う設計委託2件)

・重要給水施設管路の耐震化 … 2億4,353万円

(二村山沓掛小線配水管布設替工事その3始め3件 L=1,193m)

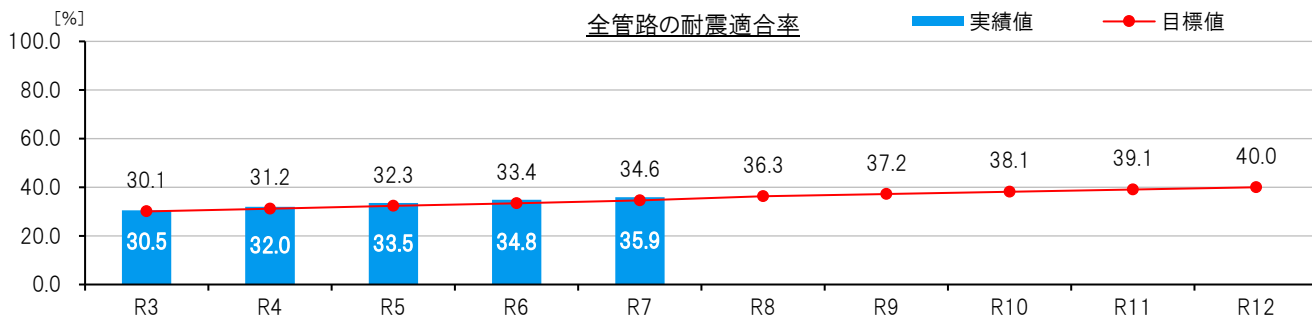
第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



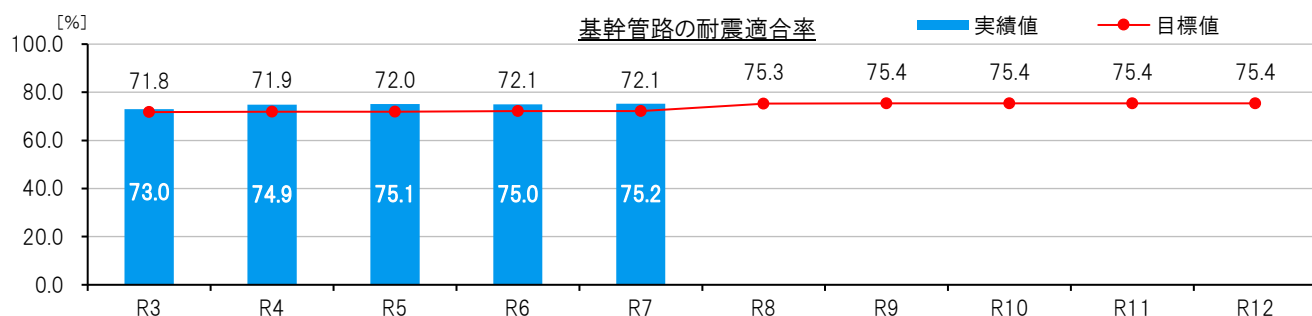
※管路更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。

※R7の目標値は、水道料金改定による見直しの数値を反映しています。

※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。



※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。



※耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K形継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。

※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。

※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。

Ⅱ 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道施設を適切に維持管理するため、老朽化した施設を計画的に更新しました。
 - ・配水池のリフレッシュ …… 16万円（横道配水池内部調査業務委託）
 - ・遠方監視システムの適正管理 …… 4,248万円
（計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他）
2. 漏水箇所の早期発見・早期修理のため漏水調査等を継続し、水道事故の未然防止に努めました。
 - ・漏水調査 …… 3,707万円（漏水調査業務委託他）
 - ・仕切弁等点検 …… 770万円（管路施設点検業務委託）
 - ・管洗浄等の実施 …… 2,840万円（水管橋塗装工事他）
3. 効率的に配水管を整備するため、区画整理事業、下水道事業や道路改良事業と同調して配水管を更新しました。
 - ・区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 1億6,357万円
（日進香久山西部土地区画整理内配水管布設工事その6始め7件）
 - ・公共工事と同調した配水管整備 …… 3億6,324万円
（日進市本郷町西原他地内配水管布設替工事その1 始め10件、道路改良事業に伴う設計委託1件）

Ⅲ 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備しました。
 - ・災害用資機材の確保 …… 529万円
（MCA無線リース料、災害時燃料の貯蔵タンク使用料、簡易型仮設給水槽他）

計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

Ⅰ 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行い、また自己水源を適切に維持管理するため、修繕工事等を実施しました。
 - ・県営水道からの受水 …… 24億8,663万円
（承認基本給水量 102,500m³/日、県営水道受水量 34,952,430m³）
 - ・自己水源の合理化 …… 1,460万円
（福谷水源井戸清掃工事、和合ヶ丘水源の廃止他）

Ⅱ お客様との連携の促進

（主な事業）

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、お客様サービスの向上を図りました。
 - ・配水補助管助成金制度の継続 …… 1,609万円（配水補助管助成金）
2. 将来を担う子どもたちを対象として、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行いました。
 - ・水道学習の実施 …… 30万円（小学生を対象とした水道学習用パンフレット）
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する分かりやすい情報の提供に努めました。
 - ・広報広聴活動 …… 533万円
 - （広報誌「ふれっしゅ水道」年間2回（4月、12月）発行）

Ⅲ 持続可能な水環境づくり

（主な事業）

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続しました。
 - ・太陽光発電設備、電気自動車の活用
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源の環境整備を行うとともに、水源地域が実施する水源環境の保全整備の促進を図る事業等に助成金を交付しました。
 - ・「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 1,888万円
 - （整備面積 木曽川 …… 121.74㍏（木曽町始め6町村） 矢作川 …… 1.89㍏（豊田市大野瀬財産区））
 - ・水源地域との交流事業 …… 65万円（水源環境整備促進事業助成金他）

Ⅳ 健全かつ安定した事業運営

（主な事業）

1. 自己財源の負担軽減を図るため、補助金制度を活用して財源の確保に努めました。
 - ・補助金制度の活用 …… 3,060万円（防災・安全交付金）
2. 事業実施に必要な財源を確保するため、企業債の適正な借入に努めました。
 - ・企業債の適正借入 …… 2億8,000万円（利率が3.2%の公的資金を借入れ）

Ⅴ 人材育成・組織力の強化

（主な事業）

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、オンライン講座の受講など研修内容を改善し充実させました。
 - ・職員教育の充実 …… 226万円（内部・外部研修の実施）

2 決算書附属資料

(1) 業務の状況

① 業務量に関する事項 〔決算書P24〕

区 分 \ 年 度	令 和 7 年 度	令 和 7 年 度 予 定 (予算)			令 和 6 年 度 実 績 対 比			備 考
	実績a	数値b	増減a－b	増減率	数値c	増減a－c	増減率	
年 度 末 給 水 人 口 (人)	328,258	328,360	△ 102	△ 0.0%	328,226	32	0.0%	主に、日進市で271人、長久手市で209人の増加となった。
年 度 末 給 水 戸 数 (戸)	144,638	142,600	2,038	1.4%	143,031	1,607	1.1%	管内全市町で増加となった。
総 配 水 量 (m ³)	35,273,775	34,482,000	791,775	2.3%	34,951,935	321,840	0.9%	県営水道からの受水量と自己水源取水量(深井戸)の合計水量
うち 県 営 水 道 受 水 量 (m ³)	34,952,430	34,027,000	925,430	2.7%	34,487,540	464,890	1.3%	県営水道からの受水量(承認基本給水量102,500m ³ /日)
1 日 最 大 配 水 量 (m ³)	103,300	－	－	－	102,143	1,157	1.1%	年間の1日配水量実績のうち最大のもの
1 日 平 均 配 水 量 (m ³)	96,640	94,471	2,169	2.3%	95,497	1,143	1.2%	総配水量を1日当りに換算したもの
1 人 1 日 平 均 配 水 量 (ℓ/人)	294.4	287.7	6.7	2.3%	290.9	3.5	1.2%	1日平均配水量を給水人口1人当りに換算したもの
有 収 水 量 (m ³)	32,809,511	32,655,000	154,511	0.5%	32,914,336	△ 104,825	△ 0.3%	給水料金徴収の対象となった販売水量
有 収 率 (%)	93.01	94.70	△ 1.69	△ 1.8%	94.17	△ 1.16	△ 1.2%	総配水量と有収水量との比率 【参考】令和6年度類似団体平均 90.98%
供 給 単 価 (円)	203.98	202.86	1.12	0.6%	178.92	25.06	14.0%	給水料金1m ³ 当たりの平均単価
給 水 原 価 (円)	166.35	170.92	△ 4.57	△ 2.7%	161.12	5.23	3.2%	水道水1m ³ を供給するために必要とする経費
1 人 1 日 平 均 使 用 量 (ℓ/人)	273.84	272.46	1.38	0.5%	273.99	△ 0.15	△ 0.1%	年間の有収水量を1人1日当りに換算したもの

(△は減を示す)

② 地区別給水量及び給水料金に関する事項 〔決算書P24〕

区分 \ 市町名	年度末給水人口(人)			年度末給水戸数(戸)			有収水量(m ³)			給水料金(税抜き)(円)			備 考
	令和7年度	令和6年度	増減率	令和7年度	令和6年度	増減率	令和7年度	令和6年度	増減率	令和7年度	令和6年度	増減率	
豊 明 市	67,640	67,712	△ 0.1%	31,730	31,434	0.9%	6,706,859	6,748,976	△ 0.6%	1,337,578,781	1,174,286,406	13.9%	
	△ 72			296			△ 42,117			163,292,375			
日 進 市	94,266	93,995	0.3%	40,923	40,373	1.4%	9,358,697	9,374,401	△ 0.2%	1,915,910,054	1,684,873,726	13.7%	
	271			550			△ 15,704			231,036,328			
み よ し 市	61,075	61,329	△ 0.4%	26,444	26,191	1.0%	6,240,384	6,258,424	△ 0.3%	1,287,927,933	1,136,695,724	13.3%	
	△ 254			253			△ 18,040			151,232,209			
長 久 手 市	61,548	61,339	0.3%	26,542	26,181	1.4%	6,326,932	6,329,228	△ 0.0%	1,332,635,372	1,172,108,410	13.7%	
	209			361			△ 2,296			160,526,962			
東 郷 町	43,729	43,851	△ 0.3%	18,999	18,852	0.8%	4,176,639	4,203,307	△ 0.6%	818,342,832	720,917,487	13.5%	
	△ 122			147			△ 26,668			97,425,345			
合 計	328,258	328,226	0.0%	144,638	143,031	1.1%	32,809,511	32,914,336	△ 0.3%	6,692,394,972	5,888,881,753	13.6%	
	32			1,607			△ 104,825			803,513,219			

* 令和7年度の下段は、令和6年度に対する増・減数を示す。

(△は減を示す)

《収益的収支》

(2) 予算決算対比表(税込み)

※収益的収支(損益勘定)とは、1年間で水道水を供給して得た収入と供給に要した費用(支出)の内訳を表すものです。

※予算に対してどれだけの収入と支出があったかを比較するため、予算科目毎に掲載し、消費税込みとなっています。〔決算書P2～P3〕

(単位 円)

収入科目	予算額					決算額 B		予算に対して増減 B-A	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	財源充当額	計 A					
水道事業収益	8,451,206,000	0	0	0	8,451,206,000	8,540,923,501		89,717,501	101.1	
営業収益	7,554,632,000	0	0	0	7,554,632,000	7,631,906,367		77,274,367	101.0	
給水収益	7,286,829,000	0	0	0	7,286,829,000	7,361,404,167		74,575,167	101.0	水道料金収入(有収水量 32,810千m ³)のうち水道水源環境保全基金分 11,791千円
受託工事収益	803,000	0	0	0	803,000	0		△ 803,000	0.0	
その他営業収益	238,546,000	0	0	0	238,546,000	246,101,176		7,555,176	103.2	下水道使用料徴収事務負担金、給水工事に伴う設計事務費 18,757千円他
他会計負担金	28,454,000	0	0	0	28,454,000	24,401,024		△ 4,052,976	85.8	消火栓及び耐震性貯水槽の維持管理負担金 19,667千円他
営業外収益	886,514,000	0	0	0	886,514,000	909,017,134		22,503,134	102.5	
受取利息	3,241,000	0	0	0	3,241,000	3,241,000		0	100.0	資金運用に伴う有価証券利息他
長期前受金戻入	842,904,000	0	0	0	842,904,000	836,025,502		△ 6,878,498	99.2	長期前受金を財源として取得した資産の減価償却費見合い分の収益化額
雑収益	40,369,000	0	0	0	40,369,000	69,750,632		29,381,632	172.8	行政財産目的外使用料他
特別利益	10,060,000	0	0	0	10,060,000	0		△ 10,060,000	0.0	
その他特別利益	10,060,000	0	0	0	10,060,000	0		△ 10,060,000	0.0	
支出科目	予算額					決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰越額	計 A					
水道事業費用	6,867,319,000	0	0	462,000	6,867,781,000	6,756,375,883	0	111,405,117	98.4	
営業費用	6,714,403,000	0	△ 20,033,657	462,000	6,694,831,343	6,583,426,226	0	111,405,117	98.3	
原水及び浄水費	2,572,270,000	0	18,470,986	0	2,590,740,986	2,587,663,482	0	3,077,504	99.9	県営水道の受水費 2,486,631千円、人件費 70,273千円他
配水及び給水費	1,064,958,000	0	△ 18,470,986	0	1,046,487,014	990,369,475	0	56,117,539	94.6	配水施設の維持修繕費 377,555千円、委託料 369,122千円、人件費 145,464千円他
受託工事費	803,000	0	0	0	803,000	0	0	803,000	0.0	
総係費	846,163,000	0	0	462,000	846,625,000	819,761,890	0	26,863,110	96.8	人件費 365,399千円、委託料 305,256千円、庁舎等修繕費 39,957千円、手数料 27,354千円他
議会及び監査費	2,971,000	0	0	0	2,971,000	2,222,755	0	748,245	74.8	報酬 853千円他
水源地環境整備事業費	38,819,000	0	0	0	38,819,000	19,529,404	0	19,289,596	50.3	水源地森林整備助成金 18,962千円他
減価償却費	2,118,504,000	0	△ 16,186,439	0	2,102,317,561	2,102,316,763	0	798	100.0	有形固定資産 2,098,200千円、無形固定資産 4,117千円
資産減耗費	69,915,000	0	△ 3,847,218	0	66,067,782	61,562,457	0	4,505,325	93.2	配水管布設替工事等に伴う用途廃止資産の除却費他
営業外費用	152,891,000	0	19,874,640	0	172,765,640	172,765,640	0	0	100.0	
支払利息及び企業債取扱諸費	44,015,000	0	△ 1,707,781	0	42,307,219	42,307,219	0	0	100.0	企業債支払利息(財務省 37,787千円、地方公共団体金融機構 4,520千円)
雑支出	5,080,000	0	△ 2,403,079	0	2,676,921	2,676,921	0	0	100.0	過年度分水道料金減免他
消費税及び地方消費税	103,796,000	0	23,985,500	0	127,781,500	127,781,500	0	0	100.0	仮受消費税 730,841千円、仮払消費税 603,059千円
特別損失	25,000	0	159,017	0	184,017	184,017	0	0	100.0	
過年度損益修正損	25,000	0	159,017	0	184,017	184,017	0	0	100.0	

(△は減額を示す)

《資本的収支》

(3) 予算決算対比表(税込み)

※資本的収支(資本勘定)とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費(支出)と、その財源(収入)の内訳を表すものです。〔決算書P4～P5〕

(単位 円)

収入科目	予算額					決算額 B		予算に対して増減 B-A	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰越にかかる 財源充当額	計　A					
企　　　業　　　債	280,000,000	0	0	0	280,000,000	280,000,000		0	100.0	配水設備改良事業の財源として借入れ
国　庫　補　助　金	49,170,000	△ 14,849,000	0	7,700,000	42,021,000	30,598,000		△ 11,423,000	72.8	水道総合地震対策事業に対する国庫補助金
工　事　負　担　金	791,318,000	0	0	73,646,838	864,964,838	635,797,526		△ 229,167,312	73.5	区画整理事業等工事負担金 176,711千円、加入分担金 201,968千円他
資本的収入 計 ①	1,120,488,000	△ 14,849,000	0	81,346,838	1,186,985,838	946,395,526		△ 240,590,312	79.7	
支出科目	予算額					決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	執行率% B／A	事務・事業の概要
	当初予算額	補正予算額	流用増減	繰　越　額	計　A					
建　設　改　良　費	4,179,313,000	0	0	354,269,300	4,533,582,300	3,330,727,426	567,481,200	635,373,674	73.5	
配 水 設 備 改 良 費	3,946,733,000	0	0	354,269,300	4,301,002,300	3,164,849,079	510,577,100	625,576,121	73.6	老朽管路更新事業 1,500,939千円、管路の耐震化事業 348,549千円、施設改良事業 170,976千円他
固 定 資 産 購 入 費	232,580,000	0	0	0	232,580,000	165,878,347	56,904,100	9,797,553	71.3	水道料金調定収納管理システム等更新 109,795千円他
企 業 債 償 還 金	174,271,000	0	0	0	174,271,000	171,778,874	0	2,492,126	98.6	償還金(財務省 120,829千円、地方公共団体金融機構 50,950千円) 【参考】令和7年度末における企業債の残高 2,687,555千円
補 助 金 返 還 金	3,114,000	0	0	0	3,114,000	3,109,352	0	4,648	99.9	令和6年度県補助金消費税相当額の返還金
資本的支出 計 ②	4,356,698,000	0	0	354,269,300	4,710,967,300	3,505,615,652	567,481,200	637,870,448	74.4	
差 引 額 ①－②	△ 3,236,210,000	△ 14,849,000	0	△ 272,922,462	△ 3,523,981,462	△ 2,559,220,126	(△は減額を示す)			
補てん財源	3,236,210,000	14,849,000	0	272,922,462	3,523,981,462	2,559,220,126	【参考】令和7年度末資金残高(翌年度資本的収支財源充当可能額) (単位　円)			
当 年 度 分 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	237,723,000	0	0	0	237,723,000	225,979,513	科 目	令和7年度末 資 金 残 高		
減 債 積 立 金	9,000,000	0	0	0	9,000,000	9,000,000	減 債 積 立 金	3,000,000	企業債の元金償還に充てるため、積み立てた資金	
建 設 改 良 積 立 金	166,528,000	0	0	0	166,528,000	166,528,275	建 設 改 良 積 立 金	44,162,393	建設・改良工事に充てるため、積み立てた資金	
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,176,419,000	0	0	272,922,462	1,449,341,462	1,577,439,997	当 年 度 純 利 益 (長 期 前 受 金 戻 入 を 除 く) (水道水源環境保全基金分を除く)	728,071,961	議案として上程し、議決後に翌年度以降の事業に充てるため、減債積立金、建設改良積立金に積立	
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,646,540,000	14,849,000	0	0	1,661,389,000	580,272,341	過年度分損益勘定留保資金	0	現金支出を伴わない減価償却費等に相当する額が、企業内部に留保された運転資金	
							当年度分損益勘定留保資金	1,578,952,867		
							計	2,354,187,221		

(4) 財務諸表4表

① 損益計算書 〔決算書P6、P24～P25〕

※6ページ「収益的収支」予算決算対比表の科目を性質別に整理し集計したもので、経営成績を明らかにするため、消費税抜きとなっています。

(単位 円)

項 目	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減(A-B)	増減率
営業費用	6,248,329,797	6,114,960,038	133,369,759	2.2%
職員給与費	580,625,910	577,303,089	3,322,821	0.6%
動力費・薬品費	39,567,426	46,710,674	△ 7,143,248	△ 15.3%
修繕費	390,797,814	338,697,378	52,100,436	15.4%
県営水道等受水費	2,262,796,911	2,207,760,090	55,036,821	2.5%
委託料	622,881,966	583,879,070	39,002,896	6.7%
水源地環境整備事業費	19,479,173	15,554,958	3,924,215	25.2%
減価償却費・資産減耗費	2,163,451,620	2,176,314,915	△ 12,863,295	△ 0.6%
その他営業費用	168,728,977	168,739,864	△ 10,887	△ 0.0%
営業外費用	45,482,231	39,068,583	6,413,648	16.4%
支払利息及び企業債取扱諸費	42,307,219	35,182,506	7,124,713	20.3%
雑支出	3,175,012	3,886,077	△ 711,065	△ 18.3%
特別損失	184,017	136,676	47,341	34.6%
固定資産売却損	0	100,795	△ 100,795	皆減
過年度損益修正損	184,017	35,881	148,136	412.9%
水道事業費用 (b)	6,293,996,045	6,154,165,297	139,830,748	2.3%
当年度純利益 (a-b)	1,555,530,383	915,711,462	639,818,921	69.9%
長期前受金戻入を除く純利益	719,504,881	64,730,408	654,774,473	1,011.5%

項 目	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減(A-B)	増減率
営業収益	6,941,722,626	6,151,864,433	789,858,193	12.8%
水道使用料	6,681,675,607	5,855,967,417	825,708,190	14.1%
水道水源環境保全基金収入	10,719,365	32,914,336	△ 22,194,971	△ 67.4%
その他営業収益	224,926,630	218,354,418	6,572,212	3.0%
他会計負担金	24,401,024	44,628,262	△ 20,227,238	△ 45.3%
営業外収益	907,803,802	917,962,826	△ 10,159,024	△ 1.1%
受取利息	3,241,000	3,244,344	△ 3,344	△ 0.1%
長期前受金戻入 ※3	836,025,502	850,981,054	△ 14,955,552	△ 1.8%
雑収益	68,537,300	63,737,428	4,799,872	7.5%
特別利益	0	49,500	△ 49,500	皆減
過年度損益修正益	0	49,500	△ 49,500	皆減
水道事業収益 (a)	7,849,526,428	7,069,876,759	779,649,669	11.0%

水道事業費用の主な増減

- ① 県営水道等受水費の増加(55,037千円)
愛知県営水道の料金値上げ(R6.10.1～、2円/㎡)に伴う県営水道受水費の増加
② 修繕費の増加(52,100千円)
庁舎改修工事、施設補修工事等の増加
③ 委託料の増加(39,003千円)
検針・収納・中止開始業務委託等の増加
④ 減価償却費・資産減耗費の減少(△12,863千円)
用途廃止資産の減少に伴う資産減耗費の減少

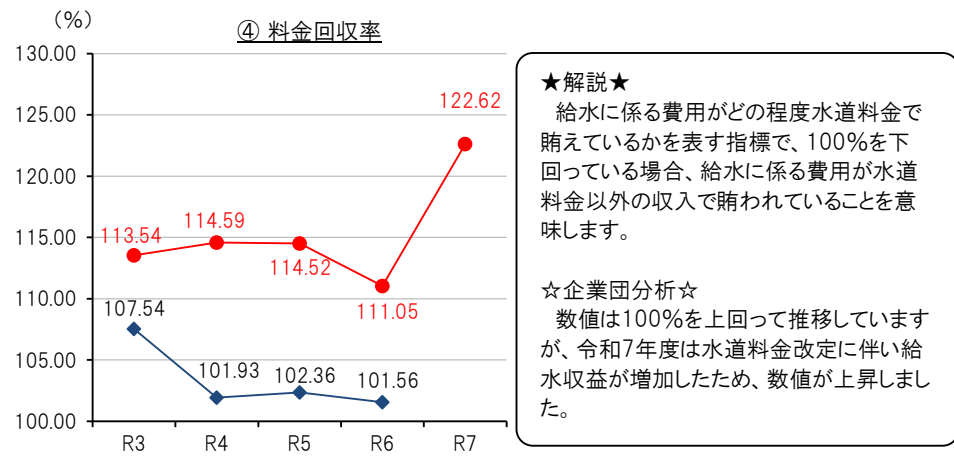
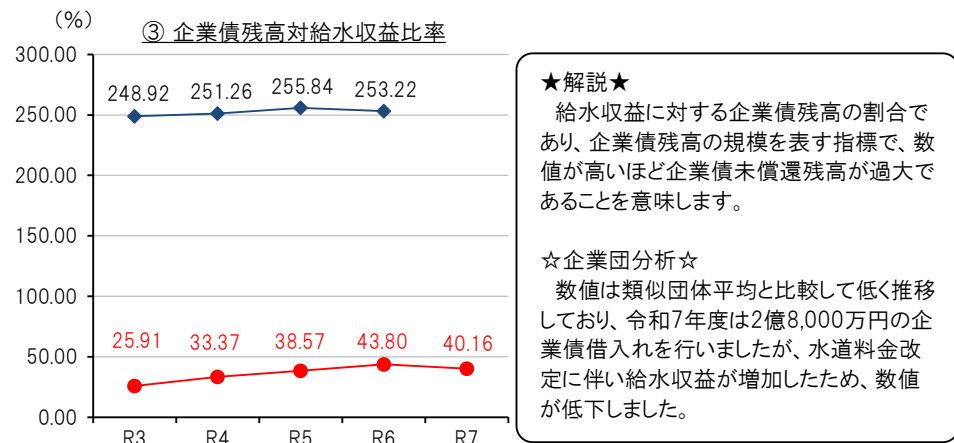
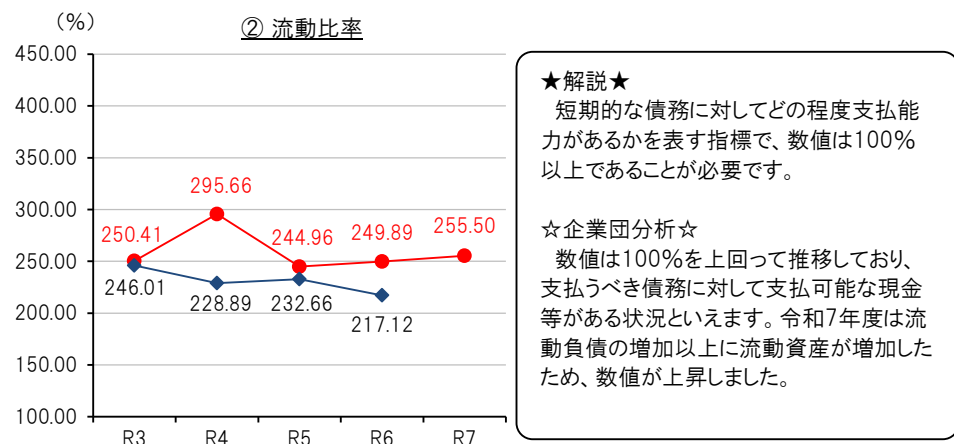
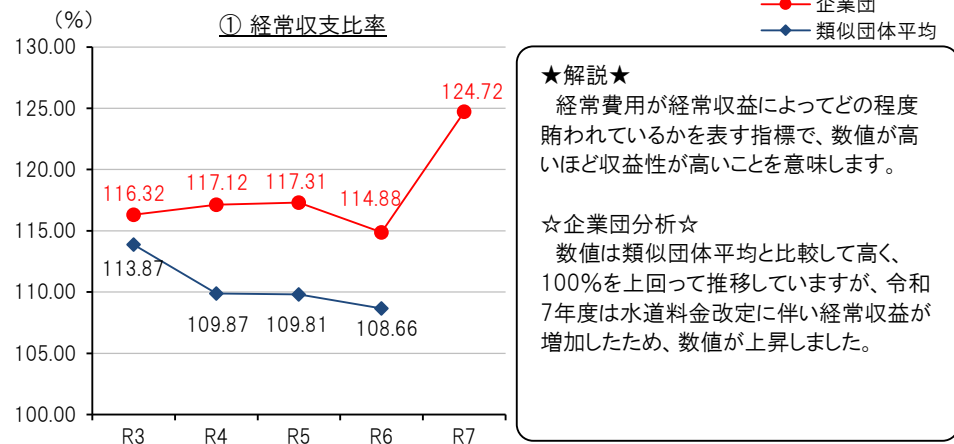
水道事業収益の主な増減

- ① 水道使用料の増加(825,708千円)
料金値上げ(R7.6.1～、20.4%)に伴う増加
② 水道水源環境保全基金の減少(△22,195千円)
基金の徴収廃止(R7.6.1～)に伴う減少
③ 他会計負担金の減少(△20,227千円)
消火栓維持管理負担金等の減少
④ 長期前受金戻入の減少(△14,956千円)
除却資産分の減少に伴う工事負担金長期前受金戻入の減少

〔公営企業に係る主な経営指標〕

〔決算書P17〕

(数値は総務省実施の「経営比較分析表」を引用)



② 剰余金計算書及び処分計算書(案) 〔決算書P8～P10〕

(単位 円)

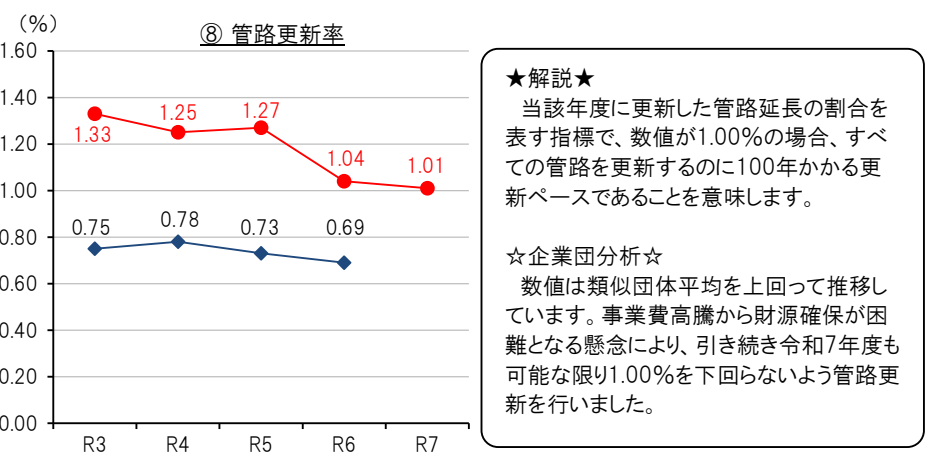
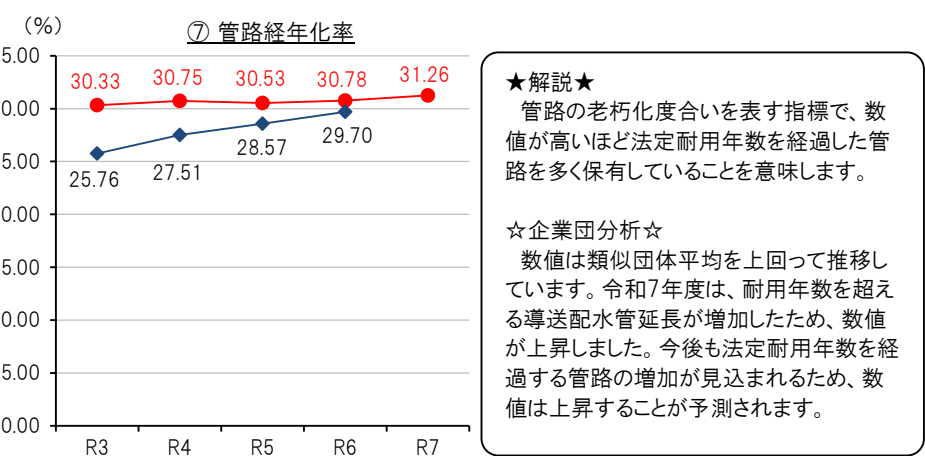
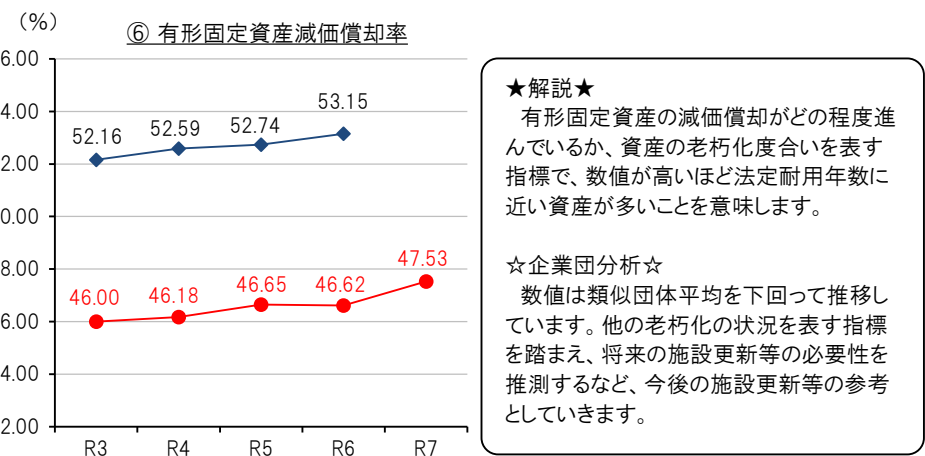
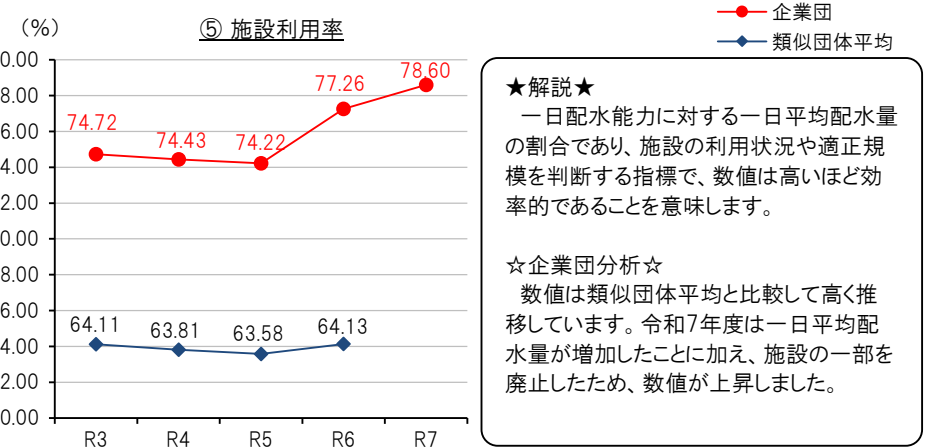
科 目	前年度末残高①	前年度処分額② (R7.7月議会の議決によるR6年度決算処分額)	処分後残高③ (①+②)	当年度変動額		当年度末残高⑥ (③+④+⑤)	R7年度決算処分案⑦ (決算書P10剰余金処分計算書(案)議会の議決による処分額)	処分後残高⑧ (⑥+⑦)
				R7年度資本的収支補てん財源使用に伴う未処分利益剰余金への振替④	当年度純利益⑤			
資 本 金	33,162,136,044	1,001,140,956	34,163,277,000	0	0	34,163,277,000	1,011,553,777	35,174,830,777
剰余金	資本剰余金	215,362,651	0	0	0	215,362,651	0	215,362,651
	減債積立金	9,000,000	3,000,000	△ 9,000,000	0	3,000,000	37,000,000	40,000,000
	建設改良積立金	166,528,275	44,162,393	△ 166,528,275	0	44,162,393	691,071,961	735,234,354
	未処分利益剰余金	1,384,890,469	(減債積立金へ) △ 3,000,000 (建設改良積立金へ) △ 44,162,393 (資本金への組入れ) △ 1,001,140,956 △ 1,048,303,349	(減債積立金取崩に伴う振替) 9,000,000 (建設改良積立金取崩に伴う振替) 166,528,275 ※2 175,528,275	※3 (長期戻入分) 836,025,502 (長期戻入を除く純利益) 719,504,881	(当年度未処分利益剰余金) 2,067,645,778	(減債積立金へ) △ 37,000,000 (建設改良積立金へ) △ 691,071,961 (資本金への組入れ) ※1 △ 1,011,553,777 (議会の議決による処分額) △ 1,739,625,738	(繰越利益剰余金) 328,020,040
	利益剰余金 合計	1,560,418,744	△ 1,001,140,956	0	1,555,530,383	2,114,808,171	△ 1,011,553,777	1,103,254,394
資本(純資産)合計	34,937,917,439	0	34,937,917,439	0	1,555,530,383	36,493,447,822	0	36,493,447,822

※1 資本金への組入額 1,011,553,777円の内訳は、※2 積立金取崩し(使用)に伴う振替額 175,528,275円、※3 当年度純利益のうち長期前受金戻入相当額の836,025,502円となります。

③ 貸借対照表 〔決算書P11～P13〕

資 産 の 部	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減(A-B)	増減率
固 定 資 産	56,695,623,699	55,628,691,502	1,066,932,197	1.9%
有 形 固 定 資 産	56,167,442,784	55,109,970,385	1,057,472,399	1.9%
土 地 ・ 建 物	2,376,912,764	2,388,906,298	△ 11,993,534	△ 0.5%
構築物(水道管等)	51,170,646,052	50,935,591,125	235,054,927	0.5%
機 械 及 び 装 置	1,121,579,899	1,183,653,624	△ 62,073,725	△ 5.2%
車 両 運 搬 具	17,503,742	24,268,258	△ 6,764,516	△ 27.9%
工具器具及び備品	113,752,106	107,933,450	5,818,656	5.4%
建 設 仮 勘 定 (建設中の資産)	1,367,048,221	469,617,630	897,430,591	191.1%
無 形 固 定 資 産	28,180,915	18,721,117	9,459,798	50.5%
投 資 (投資有価証券)	500,000,000	500,000,000	0	0.0%
流 動 資 産	4,898,088,987	4,027,562,858	870,526,129	21.6%
現 金 ・ 預 金	3,891,169,541	2,995,624,642	895,544,899	29.9%
未 収 金 (未収水道料金等)	601,687,536	582,292,236	19,395,300	3.3%
貯 蔵 品 (貯蔵量水器等)	52,338,430	61,684,320	△ 9,345,890	△ 15.2%
そ の 他	24,873,440	51,374,540	△ 26,501,100	△ 51.6%
水道水源環境 保 全 基 金	328,020,040	336,587,120	△ 8,567,080	△ 2.5%
資 産 合 計	61,593,712,686	59,656,254,360	1,937,458,326	3.2%

負 債 ・ 資 本 の 部	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増減(A-B)	増減率
固 定 負 債	3,515,310,131	3,385,904,665	129,405,466	3.8%
企 業 債	2,528,461,630	2,407,554,653	120,906,977	5.0%
引 当 金	986,848,501	978,350,012	8,498,489	0.9%
流 動 負 債	1,917,081,248	1,611,713,935	305,367,313	18.9%
企 業 債 (翌年度償還分)	159,093,023	171,778,874	△ 12,685,851	△ 7.4%
未 払 金 (未払工事費等)	1,276,840,032	1,049,782,144	227,057,888	21.6%
預 り 金 (下水道料金等)	346,329,823	283,929,936	62,399,887	22.0%
そ の 他	134,818,370	106,222,981	28,595,389	26.9%
繰 延 収 益	19,667,873,485	19,720,718,321	△ 52,844,836	△ 0.3%
長 期 前 受 金	19,667,873,485	19,720,718,321	△ 52,844,836	△ 0.3%
国 庫 補 助 金・ 県 補 助 金	1,130,172,246	1,138,641,163	△ 8,468,917	△ 0.7%
そ の 他	18,537,701,239	18,582,077,158	△ 44,375,919	△ 0.2%
負 債 合 計	25,100,264,864	24,718,336,921	381,927,943	1.5%
資 本 金	34,163,277,000	33,162,136,044	1,001,140,956	3.0%
剰 余 金	2,330,170,822	1,775,781,395	554,389,427	31.2%
資 本(純資産)合計	36,493,447,822	34,937,917,439	1,555,530,383	4.5%
負 債 ・ 資 本 合 計	61,593,712,686	59,656,254,360	1,937,458,326	3.2%



④ キャッシュ・フロー計算書 〔決算書P31～P32〕

科 目	金 額	
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	2,971,268,996	(+)
当年度純利益	1,555,530,383	
非資金費用項目(減価償却費等)	2,158,850,550	
非資金収益項目(長期前受金戻入)	△ 836,025,502	
未収金及び未払金等の精算	84,346,485	
水道水源環境保全基金の増減	8,567,080	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,183,945,223	(-)
資産の増加	△ 3,064,985,955	
補助金、工事負担金の収入	623,898,874	
未収金及び未払金等の精算	257,141,858	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	108,221,126	(+)
企業債の借入	280,000,000	
企業債の償還	△ 171,778,874	
当 年 度 資 金 の 増 減	895,544,899	
資 金 の 期 首 残 高	2,995,624,642	
当 年 度 資 金 の 増 減	895,544,899	
資 金 の 期 末 残 高	3,891,169,541	

キャッシュ・フロー			経営状況の解説
業務活動 (水道事業は 通常プラス)	投資活動 (水道事業は 通常マイナス)	財務活動	
+	-	+	営業活動が順調で投資活動を積極的に行っていますが、投資活動の財源不足分を企業債等借入により補っています。

【参考】
キャッシュ・フロー計算書の資金の期末残高は、貸借対照表の現金・預金の残高を示します。現金・預金の流れには、資産の取得のための支出や借入れによる収入など、利益とは結び付かないものが含まれています。

P7の年度末資金残高は、過去に生じた利益を積み上げた内部留保資金(利益剰余金)や損益勘定留保資金の充当後残高から、翌年度の資本的収支における差引不足額に対し補てんすることができる額(財源充当可能額)を表すものであり、現金・預金の残高とは異なります。

利益剰余金(減価積立金、建設改良積立金)は、資産を取得するに当たり、「借入れではなく自ら稼いだ資金である」というように、どのように資金を調達しているかを示しているにすぎず、実際には設備投資の原資として使われているため、現金・預金として貯まっているとは限りません。